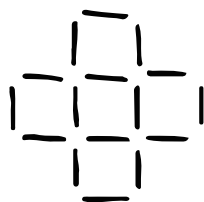


受験対策・規則性②

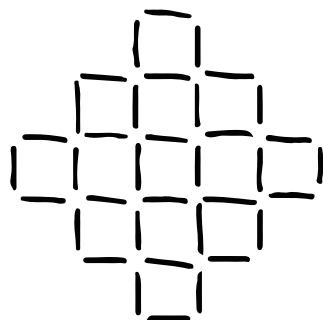
同じ長さのマッチ棒を用いて、下の図のように、一定の規則にしたがって、1番目、2番目、3番目、…とマッチ棒をつなぎ合わせて図形をつくっていく。用いたマッチ棒の数は、1番目では16本、2番目では36本、3番目では64本である。

① 4番目の図形をつくるには何本のマッチ棒が必要？

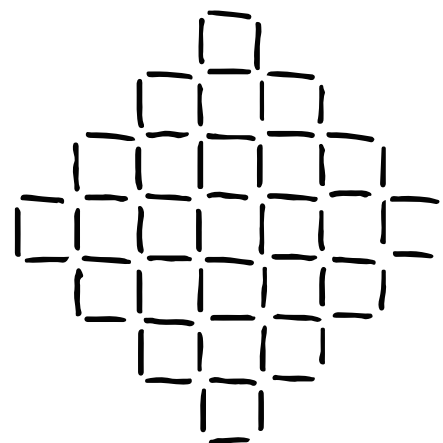
② n 番目の図形をつくるには何本のマッチ棒が必要か、 n の式で表そう。



1番目



2番目



3番目

...